

和名	分類	特徴ほか	会える場所											
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他								
チャバネセセリ	セセリチョウ科	イチモンジセセリと まぎらわしい	○	○	○	東北南部以南								
			成虫発生時期 (月)											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草		食樹	発生回数/年			越冬形態								
イネ、ススキほか			3~4			幼虫								



多摩川土手 (中野島) 8月30日 (2020年)

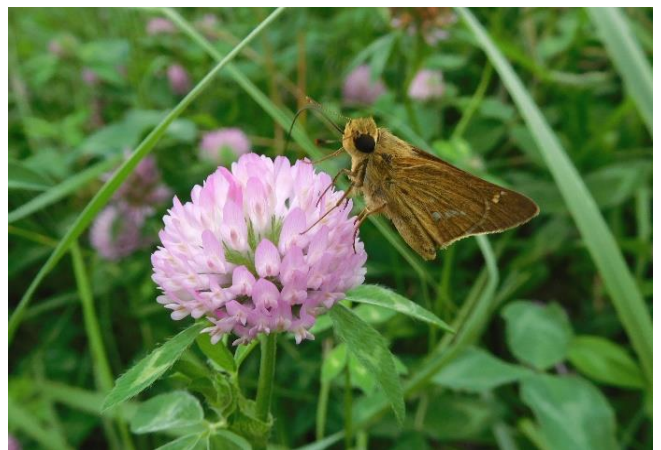


多摩川土手 (久地) 11月1日 (2022年) チシマラッキョウで吸蜜

初夏から晩秋にかけて普通にハイム内でも見かけるセセリチョウでいろんな花で吸蜜しますが、代表格のセセリチョウであるイチモンジセセリと極めてまぎらわしく飛んでるところではどちらかはわかりません。違う点：最もはっきりするのは後羽裏側の白い紋列がイチモンジセセリがその名の通り、一直線状に並ぶのに対して、チャバネセセリは小さな白い紋が弧状に並びます。従ってとまって羽を閉じてくれないとなかなか見分けることができません。また、チャバネセセリの近似種ミヤマチャバネセセリも多摩川流域に生息していて最近やっと区別できるようになりました。次ページに紛らわしいセセリたちを参考までにいくつか並べました。



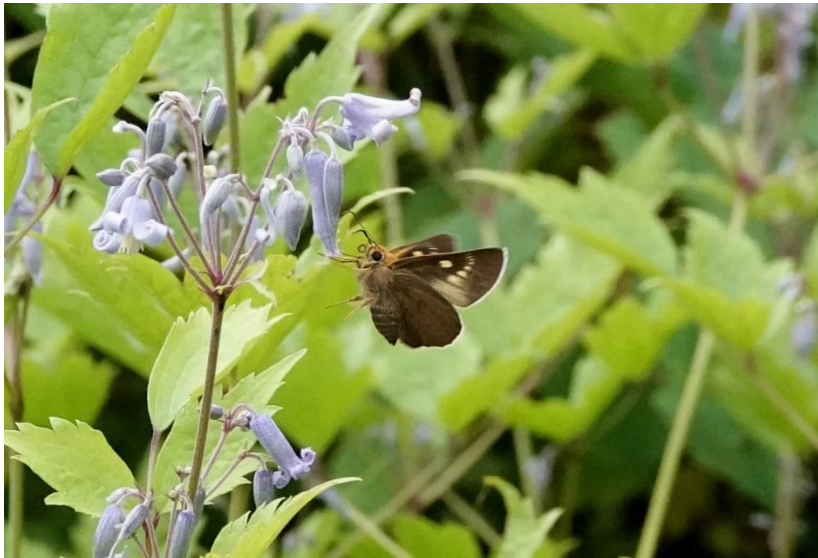
多摩川土手 (中野島) 5月23日 (2020年) チャバネセセリ  
後羽の白紋が小さく、弧状に並ぶ



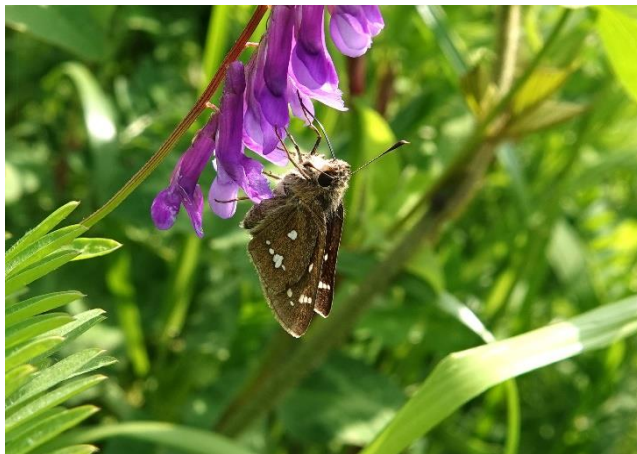
多摩川土手 (中野島) 7月17日 (2016年) イチモンジセセリ  
アカツメクサで吸蜜  
後羽の白紋が大きく一直線状に並ぶ



まぎらわしいセセリチョウたちいくつか。なかなか判別が付きません・・・



← キバネセセリ 松本市  
8月8日（2020年）クサボタンに飛来  
↓



←ミヤマチャバネセセリ 中野島 4月18日（2023年）

↓ 同 中野島 4月20日（2023年）



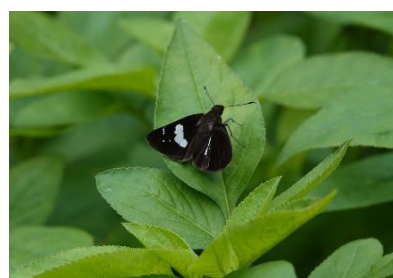
オオチャバネセセリ キオンで吸蜜  
松本市 8月7日（2020年）



ホンバセセリ  
八王子市 8月2日（2020年）



ネッタイアカセセリ 石垣島  
2月10日（2020年）



クロセセリ 石垣島  
2月12日（2020年）

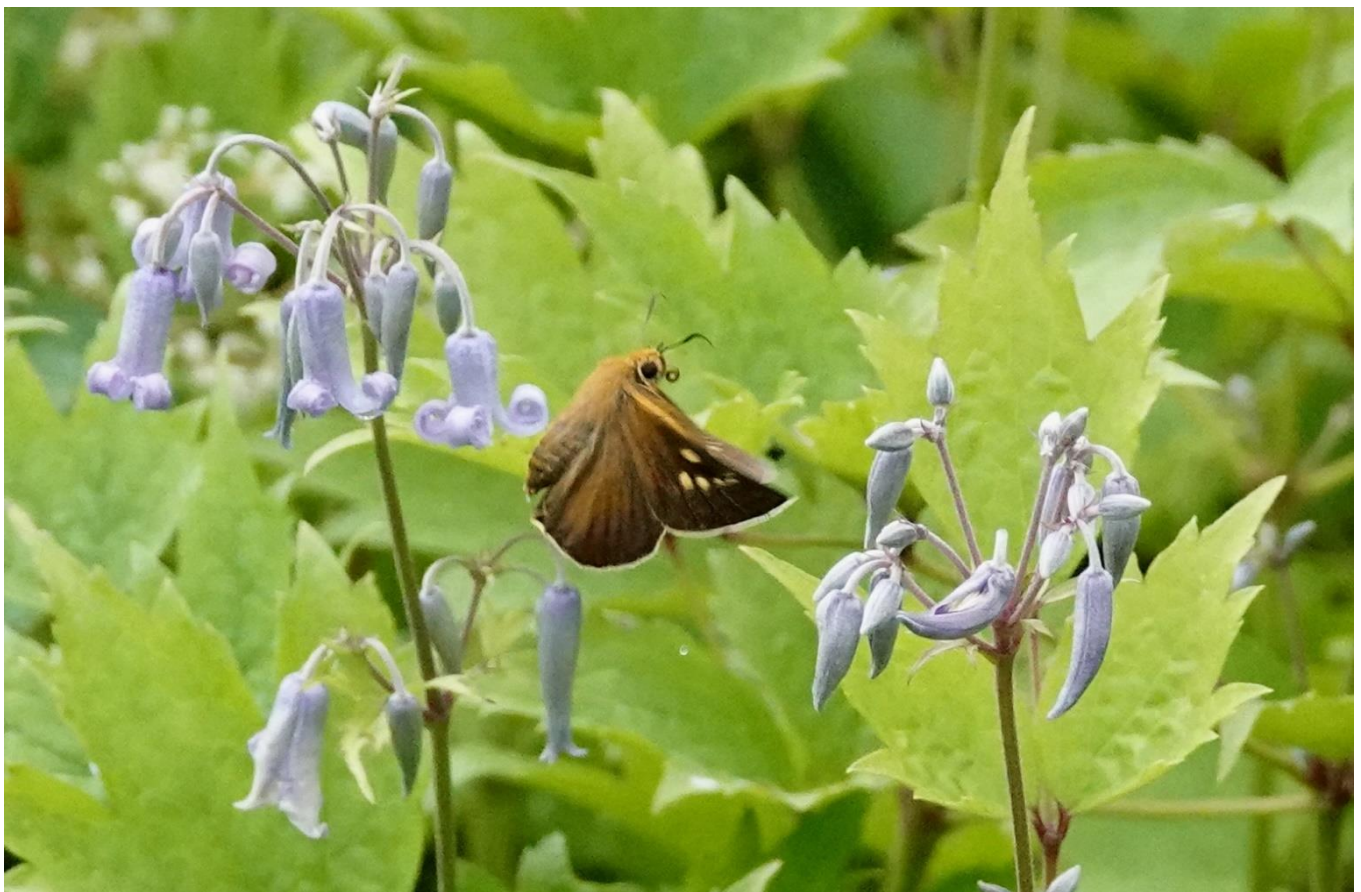


ユウレイセセリ 石垣島  
2月12日（2020年）





キバネセセリ 8月9日（2020年） 松本市 梓川 クサボタンで吸蜜



キバネセセリ 8月9日（2020年） 松本市 梓川 クサボタンに飛来